

# 私の通学路

- 《ワークの目標》 1. 自分の過去の思い出を人に話してみよう。  
2. 友だちの過去の話を聞いて、友だちを深く理解しよう。

\*ここでは、以下の2点について説明します。

- ①このワークは、皆さんが自分のキャリアを考えるための第一歩です。その意味について説明します。  
②担任が小学生だったときの「私の通学路」を発表します。それも含めた進め方を説明します。

## 《キャリア学習の意味》

キャリア学習（教育）は、キャリア発達理論に基づいて自分のキャリア形成について学ぶことです。ここでいうキャリア（career）とは、「人生の一連の出来事」\*という意味です。つまり、キャリア学習とは「大学進学」「就職」という人生の一時期のことだけを近視眼的に考えるのではなく、「生まれてから死ぬまでの自分の人生の全体」を考えることです。自分はどんな人生を歩きたいのか、何を大切に生きていくのか…などをじっくりと考えることから始めて、その自分の人生を築くために、どんな仕事に就くのか、そのために高校や大学で何を学ぶのかを考えることです。

しかし私たちは、自分のことを全部わかっているわけではありません。自分が他人とどう違うのかも、ちゃんとは理解できていないのではないのでしょうか。そこでキャリア学習では、自分の人生を振り返ることを重視します。自分の過去を振り返ると、いろいろな体験をし、さまざまなことを感じてきました。それらを振り返り、言葉にしたり、同時に、友だちや異なる世代の人の話を聞いたりすることで、自分と他人との違いがはっきりしてきます。こうして私たちは、他者との比較を通して自分自身をより深く理解していきます。自分の進路を考えるときに、この作業はとても大事です。

この「私の通学路」では、小学生の頃の少し恥ずかしいことや、傷ついた体験も思い出すかもしれません。しかし、かなり過去のことなので話ができると思います。そのことで過去の出来事に対して新しい気づきを得ることもあります。このような「振り返りと気づき」や「自己開示」が、キャリア学習には不可欠です。このワークはその第一歩です。積極的に取り組んでください。

## 《担任の「私の通学路」から始める》

最初に担任が黒板に大きく掲示した「私の通学路」をもとに話します。大人の「私の通学路」の話を聞くことは稀だと思いますので、真剣に聞いてください。そして、自分が「私の通学路」を書く際や、友だちに説明する際のモデルにしてください。担任も個人的な体験を話します。話が終わったら、拍手をお願いします。

そのあとは、ワークシートに書いてあるとおりに進めてください。

\*アメリカのキャリア研究者であるドナルド・E・スーパーの定義。

### 私の通学路

- 《ワークの目標》 1. 自分の過去の思い出を人に話してみよう。  
2. 友だちの過去の話を聞いて、友だちを深く理解しよう。

#### 《進め方》

- ①小学校のときの、あなたの家から小学校までの通学路を、図で書いてください。  
②通学路にはいろいろな思い出があると思います。  
思い出に残る場所や出来事も、その中に絵や言葉や記号で表してください。  
③書き終えたらその図（絵）を見せながら、グループの人たちに、あなたの通学路の思い出を話してください。  
④書いていて感じたこと、友だちの話を聞いて感じたことを書きましょう。



●このワークで感じたことを書きましょう。

番号・名前